

平成 26 年度 第 5 回 理事会議事録

日時：平成 26 年 8 月 26 日（火）19：00～20：30

場 所：県士会事務所

出席：（理事）小林伸、磯野、有泉、藤田、北山、古屋、
笠井、井村

（部長）鈴木、大内、菅谷、加納、

（委員長）山田、小林（幸）

欠席：（理事）高村、青柳

書記：伊東・木村

I. 審議事項（全 3 題）

1. ホームページ管理委託について

（菅谷事業管理部長）

保留 ホームページ委託業者候補を 4 社ピックアップし、打ち合わせを行い見積もりを取った。業者に委託する場合は現状のページを活用するのは難しいとのこと。価格と対応の点では Magnetic Labo が良いと思われる。各理事にて候補を吟味し次回理事会にて委託先を決定する。同時に基本料金以外にかかる金額と内容を確認し年間予算のシミュレーションをしたほうが良いなどの意見も出された。

2. 旅費交通費清算 申し送り事項の一部変更について

（大内財務部長）

承認 「領収書のないもの」について一律の取り扱いとするよう申し送り事項を一部変更する。

3. 3 士会合同学会における士会諸活動報告の配布について

（小林会長）

承認 3 士会合同学会において OT・ST へ向けた士会活動報告を A4 両面 1 枚にて作成する。原案は広報局で作成し次回理事会にて報告する。インパクトのあるもので公募した川柳などを載せてはどうかなど意見も出された。

II. 報告事項（全 10 題）

1. インターハイサポート委員会：インターハイサポート報告

（小林委員長）

無事終了した。冬季国体の経験を活かしてスタッフへの研修を計 19 回実施した。スタッフは 24 施設から延べ 74 名が参加し、ウェイトリフティング・自転車・卓球へそれぞれの会場にて対応した。実施の延べ件数は 247 件であった。集計の詳細については会計報告も合わせて次回理事会にて報告する。

2. 関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会：進捗状況の報告

（山田委員長）

予算案、プログラム案を作成した。予算は現時点で 249 万円のマイナスとなっている。プログラムの時間枠は確定させていただく。以前に指摘のあった公開講座の開始時間は委員会で検討し設定した。大会 1 日目の始まりをオープニングセミナーとした。テクニカルセミナーではベッドの搬入を行う。2 日目は 8 時 30 分スタートとした。講師の候補は決定しているがまだ内諾を得ていないので承知いただきたい。今後の活動予定として、広報局では今年の子葉大会が終了次第ホームページを立ち上げる予定。運営局では会場となるアピオを視察予定。渉外局では公開講師の講座の選定を行う。

3. 社会局 委託事業部：講師派遣依頼について

（古屋社会局長）

公益社団法人総合健康推進財団九州支部より講師派遣依頼の依頼を受け、小林会長に対応していただくことになった。12・1 月に各 1 回ずつ実施予定。会場は特別養護老人ホーム緑風荘、テーマは介護現場の移動・移乗技術。

4. 社会局 スポーツ PT 部：活動報告

（古屋社会局長）

ミニ国体予選サッカー成人男子・女子に帯同した。

5. 福祉厚生局 医療・介護保険部：医療・介護報酬に関する基礎的研修会について

（笠井福祉厚生局長）

研修会を 1 日目 10 月 21 日（火）、2 日目 10 月 23 日（木）に、対象を 1～3 年目の PT を優先に開催予定（承認となる）。承認を得られたので案内文書を発行する。

6. 福祉厚生局 地域連携部：研修会準備報告

（笠井福祉厚生局長）

地域理学療法研修会の講師と日程を検討中。地域包括ケアシステムの関連する内容を検討しており、福井県医師会の理事に内諾を得ている状況。次回の理事会で詳細を報告する。

7. 学術局 学術研修部：第 6 回学術研修会報告

（北山学術局長）

8 月 10（日）に研修会を開催した。テーマは「徒手理学療法の基礎～運動器疾患のクリニカルリーディングを中心に～」で、講師は亀雄徹先生（新潟医療福祉大学）、参加者は 128 名であった。時間の関係上、研修内容は座学のみとなった。デモを期待していた参加者も多く、次回より講師との打ち合わせにも配慮していく必要がある。また連絡がない欠席者が 20 名以上いた。対策として、欠席する場合は連絡をする旨を案内文に記載する必要があるとの意見がでた。

8. 学術局 生涯学習部：第 1 回新人プログラム報告

（北山学術局長）

8 月 18 日（月）に A-5「理学療法における関連法規」（講師：小林会長）、D-2「生涯学習と理学療法士の

(磯野副会長)

8月9日に3協会合同の介護予防の研修会があった。厚労省から介護予防に関してセラピストが参加しているところは成績が上がっているとの報告があった。また研修の中で2つの報告があり、①大分県では県士会と行政が深く関わっているとの報告と②山梨県ではST士会の内山先生が県からの依頼でDVDを作成したとの報告があった。

4. 次回の理事会日程について

日時 平成 **25年9月30日(火) 19:00~**

場所 県士会事務所

駐車場：湯村温泉病院敷地内

連絡 **9月26日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(藤田)へ提出する。**
議題がない場合でも、事務管理局へ連絡する。

※会計書類の提出について

中間々となるため、9月の理事会にて8月と9月の会計書類の提出をお願いします。

専門性」(講師；遠藤先生)を開催した。参加者はともに65名。8月25日(月)にA-4「人間関係及び接遇」(講師：三科先生)、A-2「協会組織と理学療法システム」(講師：磯野副会長)を開催した。参加者はA-4が62名、A-2が67名であり、ほとんどの新人会員が参加した。

9. 広報局 広報部：理学療法川柳について

(藤田事務管理局長)

8月22日時点で、40名、109句の応募があった。選定を適切に行うには広報局では難しい。甲州リハにボランティアで来ている川柳の先生に打診をすることとなる。

10. 広報局 広報部：エコバックについて

(藤田事務管理局長)

広報活動(いきいきねりんピック等)に使用するエコバックを1,000個作成した。

11. 事務管理局：3士会意見交換会報告

(藤田事務管理局長)

山梨県リハ専門職合同学術大会において書籍のみ展示する(機器は展示しない)。地域支援事業等推進委員会については3士会合同リーフレットの作成、研修会の開催を行う。いきいきねりんピックは合同ブースで行う。PT士会事務所をOT・ST士会でも活用していただける旨を伝えた。3士会合同特別支援教育委員会(仮)の設立に向けた各士会準備委員会の立ち上げについて審議がなされ、承認される。最終的には支援学校のセラピスト常駐も視野に入れていく。

III. その他

1. 会長挨拶

3士会合同連絡会に出席した。3士会合同特別支援教育委員会を立ち上げ、最終的には支援学校にセラピストを常駐したいと考えている。地域支援事業推進委員会を3士会合同で進めていき、当面はリーフレットを作成し啓発していく。3士会が法人化になったことで今後は3士会合同で事務所の設立、事務職員の配置等を進めていきたいと考えている。19日に協会会館設立委員会に参加、会館の建設はオリンピック以降になると思われる。23日は甲斐クリニックの内覧会に招待された。9月5日は地域支援推進委員会の研修会に参加予定。6日は関プロ士会長会議に出席予定。

2. 医療功労賞の推薦について

(小林会長)

県から医療功労賞および叙勲の推薦依頼があり、医療功労賞として藤本先生を推薦したいと考えている。9月30日までに間に合わなければ秋の叙勲で推薦を考えている。士会としては士会員の中から推薦したいと考えている。

3. 3協会合同介護予防研修会参加報告